

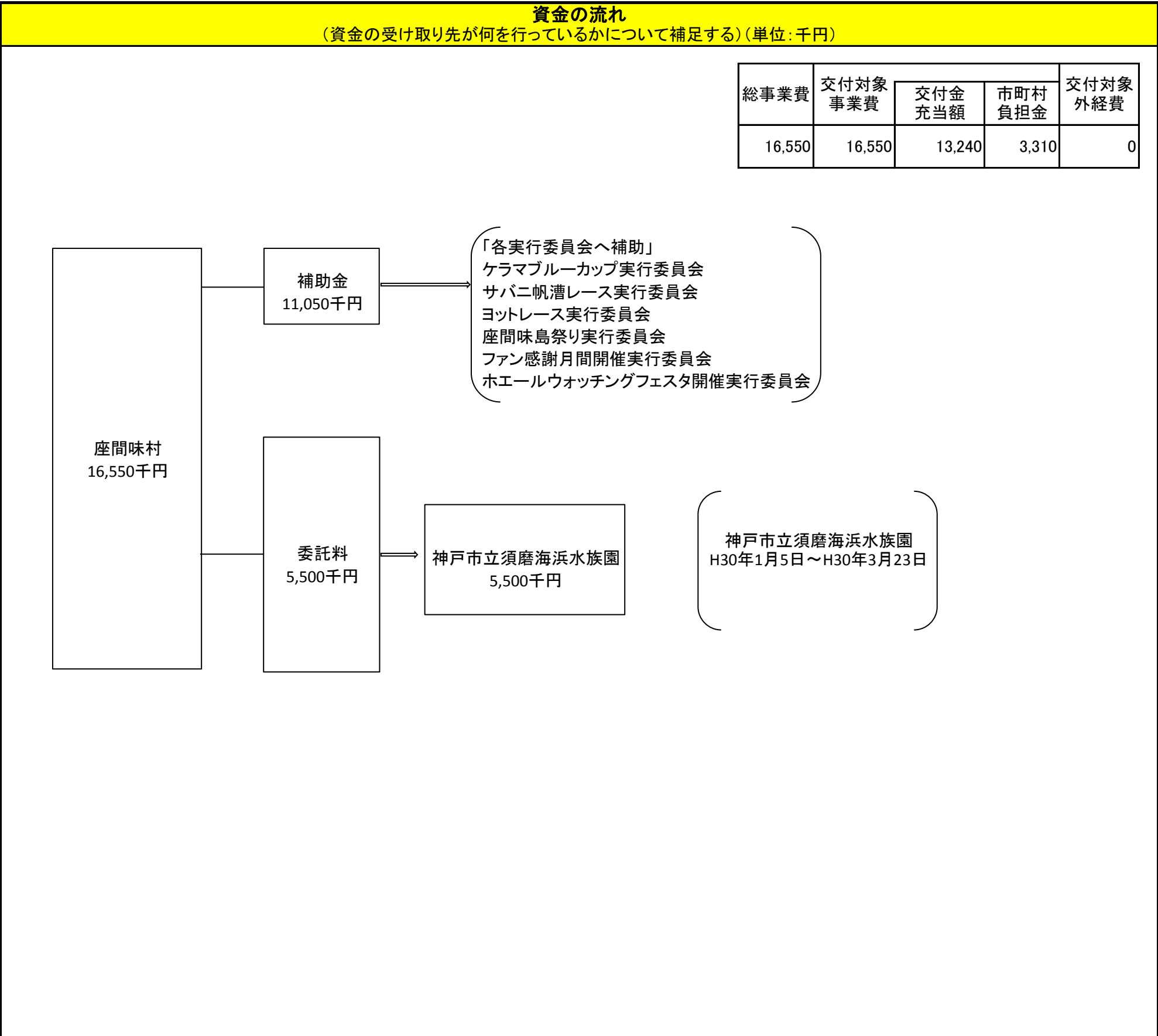
市町村名	座間味村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－①	座間味村海域安全隊事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア				
				観光リゾート産業の振興				
担当部課名	産業振興課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	座間味村内の3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）において、観光客が増加するシーズン（GW～夏季）の海洋事故防止及び安全確保を図るためライフセーバー員等を配置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	10,000	15,668	12,000	16,201	25,571	
		(b) 予算現額	10,000	7,500	12,000	16,201	25,571	
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 8,168	0	0	0	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	10,000	7,500	12,000	16,201	25,571	
	B. 執行済額		10,000	7,030	12,000	15,925	21,957	
	うち交付金充当額		8,000	5,624	9,600	12,740	17,565	
	次年度繰越額		－	－	－	－	－	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	93.7%	100.0%	98.3%	85.9%	
予算の状況の説明		不要額3,614千円については、委託事業者の見積もり金額が当初予算より低かった為。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	ライフセーバー員等の配置(6名) (7月、8月)8名 ・古座間味ビーチ 2名 ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月増員2名)	目 標	(実施)	(GW期間 7月～10月)	(GW～10月末 常駐配置)	(GW～10月 末 常駐配 置)		
		実 績	一部実施	4月24日～10月31 日配置	4月25日～10月31日 配置	4月24日～10月31日 配置		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	4月24日～10月31日まで座間味村全域（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）に常駐配置し監視を行った。また、7月、8月は遊泳客数が非常に多いため、2名増員し8名体制でビーチ監視を行った。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （ 年度）
	海水浴客等の海洋事故防止と安全確保	目 標	()	(海洋事故 防止と安全 確保)	(海洋事故 防止と安全 確保)	(海洋事故 防止と安 全確保)	()	
		実 績		実施	実施	実施		
	【H30成果目標】 ライフセーバー配備期間中の水難死亡事 故	目 標	()	()	()	()	0件	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	村内3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）において4月24日～10月31日の間、水難救助員、ライフセーバー等を配置し、海水浴客の海洋事故防止と安全確保を実施した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・ビーチ利用客が増加しており、事故防止、安全確保のために、ライフセーバーを配置しているが、さらなる安全確保のために、救護技術を保有した人員の確保が課題となっている。 ・ビーチの一部でサンゴの破壊等が見受けられたなど、遊泳ルールの徹底が課題となっている。 ・外国人利用客が増加しており、悪天候による遊泳禁止時においても遊泳している外国人が多く見受けられるなど、ルールの周知が課題となっている。	・安全確保(海難事故ゼロ達成)のために、ビーチ周辺事業者や地域住民の参画を促し、地域全体での救護体制の構築、人員の確保を図る必要がある。 ・ビーチの環境保全及び遊泳ルールの徹底のために、遊泳区域の設定等、遊泳ルールを明確化し、周知を行う必要である。 ・年々増加する外国人利用客への対応として、遊泳ルールの多言語での表示、周知を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・関係機関と連携し、高い救護技術を保有したライフセーバー人材の確保を行う。また、ビーチ周辺の地域住民等を対象とした水難救助講習会などを開催し、地域全体での救護能力の向上、人材の育成に努める。 ・サンゴの保護などビーチ環境の保全及び安全確保に向けた遊泳ルール徹底のため、遊泳区域の設定等を行い、座間味村へ入域する船舶で周知を行うほか、入水前にライフセーバーから遊泳者に対する指導を行う。 ・多言語対応として、悪天候時のアナウンスを日本語と英語で行う。また、座間味村へ入域する船舶における遊泳ルール周知を多言語表記で行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>21,957</td><td>21,957</td><td>17,565</td><td>4,392</td><td>0</td></tr> </table> 座間味村 21,957千円 委託金 19,688千円 委託 合同会社座間味ビーチパトロール 19,688千円 (4/24～10/31) 業務内容(3ビーチ) ・監視、パトロール ・事故防止のための安全指導、環境保全指導 ・遊泳禁止条件、禁止区域での警告、指導 ・事故発生時の救助活動 備品購入費 2,269千円 ジェットマリン ショップ プラスワン 2,269千円 水上バイクレスキュー艇購入					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	21,957	21,957	17,565	4,392	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
21,957	21,957	17,565	4,392	0										
資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は資格等で選定しており、また水難救助という特殊性から妥当であったと考えている。 ○期間、人数から鑑み適正な規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	座間味村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－②	座間味村がんばる観光支援事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（12）－ア				
				観光リゾート産業の振興				
担当部課名	産業振興課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）			
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内外周知活動、県外水族館等での誘致活動等を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	15,000	29,674	17,000	16,700	20,850	
		(b) 予算現額	8,119	29,674	17,000	16,700	20,850	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,881	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	8,119	29,674	17,000	16,700	20,850	
	B. 執行済額		8,119	28,397	11,823	9,960	16,550	
	うち交付金充当額		6,495	22,718	9,458	7,967	13,240	
	次年度繰越額		－	－	－	－	－	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	95.7%	69.5%	59.6%	79.4%	
予算の状況の説明		不足額4,300千円については、イベント(補助事業)では、補助を予定していたイベントが補助なしで運営できるイベントになったため、各補助確定額が当初より減額した。県外PR事業(委託)については、当初予定していた2箇所のうち1箇所の開催を見送った為。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	各種イベントへの支援	目 標	(イベント支援5件)	(イベント支援6件)	(イベント支援7件)	()		
		実 績	イベント支援3件	イベント支援3件	イベント支援6件			
	県内外PRイベントの実施	目 標	(イベント実施2箇所)	(イベント実施)	(イベント実施)	()		
		実 績	イベント実施2箇所	イベント実施	イベント実施			
達成 状況 説明	各種イベントの支援については1件イベントの補助が不要となり目標が7件の支援だったが6件支援の実績となった。県外PR活動として、神戸の須磨海浜水族園1箇所で座間味特別展を実施。1箇所開催を見送り目標が達成できなかった。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （30年度）
	サバニ帆漕レース：参加艇40艇 700名	目 標	()	(40艇 700人)	(42艇 720人)	(40艇 700人)	()	
		実 績		41艇 714人	39艇 720人	36艇 690人		
	・ヨットレース：参加艇45艇 500名	目 標	()	(35艇 500人)	(35艇 500人)	(45艇 500人)	()	
		実 績		35艇 504人	45艇 600人	59艇 650人		
	・座間味島祭り 700名	目 標	()	(800人)	(850人)	(700人)	()	
		実 績		823人	760人	750人		
	・ホエールウォッチングフェスタ 7000名	目 標	()	(7000人)	(7000人)	(7000人)	()	
		実 績		13494人	13950人	13450人		
	・県外水族館等でのPR活動の実施	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績		実施	実施	実施		
	【H30成果目標】 入域観光客数	目 標	()	()	()	()	111,000人以上	
実 績								
進 捗 状 況 説 明	イベントを充実・拡充して開催したことにより、観光客及び参加者の増加がみられ、各イベントの目標数値もおおむね達成した。特にヨットレースは県外にも広く周知を行った為、過去最高の59艇の参加があった。 県外PR活動としては、神戸の須磨海浜水族園にて座間味特別展を開催した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・座間味ヨットレースに関しては目標数値を大幅に上回り港の受け入れが厳しい状況であったなど、港や船舶、宿における受入体制が課題となっている。 ・新規補助イベントとして行ったSUP大会・ケラマブルーカップは第1回目の開催であり告知が弱かったため参加者は伸び悩んだ結果となった。しかし国際的なマリンスポーツであるスタンドアップパドルボードの大会は他イベントと比べ外国人の参加者が多い傾向となった。 ・県外PRについては夏季シーズンPRの調整や準備がイベントの時期と重なり、遅れたため1箇所しか開催できなかった。	・イベントを行う際には船舶・宿の受け入れの問題があるため今後、各イベント参加者が増加することを考え最適な開催時期を検討しなおす必要があると考えられる。また、サバニレースやヨットレースは港湾を使用するイベントになるため、座間味港だけではなく、阿嘉港の使用も検討し参加者増加に対応できるように整備する。 ・国際的なマリンスポーツ(SUP)大会の開催、グローバルアスリートの招聘を行うことで国際的にPRが可能な、世界基準のコンテンツを有する大会の開催、海外市場へのプロモーションを強化が必要である。 ・県外PRでは開催を2箇所での開催を目標にしていたが、1箇所の開催になってしまったため、繁忙期や村イベントが多い時期になる前に調整を行う。
今後の取り組み方針		
・イベントについては、引き続き補助を行い強化を図る。また、現在課題となっている港や船舶、宿の受入体制については、関係機関と調整し、各イベントの開催時期を決定する。 ・SUP大会・ケラマブルーカップは外国人参加者が多かった。さらに外国人参加者を増やすための海外に向けたプロモーションや、インバウンド対策も視野にいれて準備を進める。 ・県外PR活動については、まだ開催したことのない場所での開催も検討する。2箇所での開催を目標に調整を確実に実施する。		



市町村名	座間味村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－③	座間味村観光受入拠点事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（12）－ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度			観光リゾート産業の振興		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）		
事業内容	外国人を含む観光客の誘客と満足度向上を図るため、村の観光の総合窓口業務及び村内の観光事業従事者を対象とした講習会等を実施する観光協会へ支援を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	19,320	19,755	16,000	14,252	19,734	
		(b) 予算現額	13,770	19,755	16,000	14,252	19,734	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,550	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	13,770	19,755	16,000	14,252	19,734	
	B. 執行済額		13,770	19,000	13,489	11,372	16,303	
	うち交付金充当額		11,016	15,200	8,061	9,097	13,042	
	次年度繰越額		－	－	－	－	－	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	96.2%	84.3%	79.8%	82.6%	
予算の状況の説明		不用額3,431千円については、人件費、共済費、イベント周知活動旅費、スキルアップ講座報償費、燃料費の残によるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）			達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	観光案内所開設（年中無休）	目 標	(365日)	(365日)	(365日)			
		実 績	362日 暴風警報時閉鎖	365日 暴風警報時は電話 対応のみ	365日 暴風警報時は電話対 応のみ			
	イベント等における観光客誘客活動年2回	目 標	(3回)	(4回)	(2回)			
		実 績	4回実施	5回実施	6回実施			
	観光事業従業者向けスキルアップ講座開催8回	目 標	(開催)	(10回)	(8回)	()		
		実 績	未実施	3回	3回			
	達成 状況 説明	・案内業務については年中無休で実施し、ノルディックウォーキングアクティビティーリーダー資格取得講習会、島歩きガイド育成講習会を開催した。また、村内事業者の質の向上に向け昨年に引き続き、村内民宿事業関係者を集めた意見交換会を開催し現状課題を話し合い質の向上について取組事例等を紹介した。 ・県内外の各種イベント（離島コンテンツフェア、ソニーアクアリウム、とまりんフェスタ、ツーリズムEXPOジャパン、離島フェア、沖縄修学旅行フェア）へ参加し誘客PR活動を6回実施した。						
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度
観光案内所利用者数延べ9万人（H27年度8万5千人）		目 標	()	(8万人)	(9万人)	(9万人)	()	
		実 績		9万5千人	9万5千人	9万5千人		
観光事業従業者向けスキルアップ講座開催8回		目 標	()	()	(10回・125名)	8回)	()	
		実 績			3回・60名	3回・50名		
【H30成果目標】 観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。		目 標	()	()	()	()	80%以上	
		実 績						
進 捗 状 況 説 明		・年中無休の観光案内業務を実施し、観光案内所利用者数は9万5千人となり目標を達成した。 ・観光事業従事者向けスキルアップ講座については、ノルディックウォーキングアクティビティーリーダー資格取得講習会(20名)、島歩きガイド育成(10名)、ウェルネスツーリズムノルディックウォーキング公演会(20名)を開催したが、その他計画していた講座が日程の調整不足により開催出来なかった為、目標回数は達成出来なかった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光客の満足度、利便性向上のため、窓口での年中無休の案内業務を行った。外国人観光客が増加する中、今までの欧米系観光客のほか、アジア系の旅行者も増加しており多言語での周知、案内及びwi-fi環境の充実が課題となっている。 ・観光従事者向けスキルアップ講座については、日程の調整がつかず目標を下回る結果となっている。 ・冬場（閑散期）に関してもホエールウォッチング客が年々増加しているが、海上時化等、天候不良時の対策も必要となっている。	・年々増加する外国人観光客も視野に入れ、村全体の受け入れ体制の強化及びリーフレット、MAP、ルールブックの多言語表記や、船舶での案内、wi-fi環境の充実等、更に観光客の満足度向上を図る必要がある。 ・阿嘉島のさんごゆんたく館（平成30年3月オープン）を活用したスキルアップ講座の開催を検討し、更なる受け入れ体制の強化を図る。 ・船舶欠航時及び、悪天候時の観光客への代替案内業務や天候に左右されない屋内型施設の充実、空路との取次案内の多言語化も必要となっている。
年中無休で丁寧な観光案内業務を継続すると同時に接遇の向上に取り組み、平成30年度より管理を行う阿嘉島のさんごゆんたく館を活用し、スキルアップ講座を実施することで、事業者の意識と質を高める。また、閑散期（冬場）の観光客誘致のため同協会だけではなく地元観光事業者及び旅行会社等と意見交換を行い、アンケートによる意見も取り入れる必要がある。 阿嘉島での観光案内業務は環境省の施設（さんごゆんたく館）で行う事となった為、同施設においてwi-fiの設置、スキルアップ講座の開催、天候に左右されない屋内型のメニュー等を開発し訪れた観光客の更なる満足度の向上に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>18,115</td><td>16,303</td><td>13,042</td><td>3,261</td><td>1,812</td></tr></table> 座間味村 16,303千円 補助金 16,303千円 → 一般社団法人座間味村観光協会 16,303千円 （協会負担分（交付対象外経費） 1,812千円 ・窓口案内業務（年中無休） （案内、電話対応、メール対応、） ・情報発信（HP等、マスコミ、メディア対応）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	18,115	16,303	13,042	3,261	1,812
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
18,115	16,303	13,042	3,261	1,812										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的を達成するに当たり、村内においては当法人しかなく妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容と予算は適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は事業費の約1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名		座間味村						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－④		座間味村景観計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－(ア)		
						沖縄らしい風景づくり		
担当部課名	産業振興課		事業実施 (予定)年度	平成29～31年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	座間味村の豊かな自然や歴史等の風景を生かした観光地としての魅力的な景観形成を図るため、景観計画を策定する。今年度は計画策定に向けた基礎調査を実施する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(32年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,861					
		(b) 予算現額	5,861					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	5,861					
	B. 執行済額		5,400					
	うち交付金充当額		4,320					
	次年度繰越額		－					
	執行率（％）(B/A)		92.1%					
	予算の状況の説明		不用額461千円は、入札残額である。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標(指標)			達成状況				
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	景観計画の基礎調査実施	目 標	(実施)	()	()	()	()	
		実 績	実施					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	達成 状況 説明	住民向けアンケート調査を実施し、その内容をもとに具体的な基準の検討に関する勉強会や意見交換会を行い景観計画の基礎調査を実施し完了した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (32年度)
	景観計画基礎調査業務の完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	()
		実 績		完了				
	【H32成果目標】 景観計画策定後のアンケート調査において、魅力的な観光地としての景観形成が維持されているか(80%以上)を含め、アンケートにより、景観行政のあり方について検証する。	目 標	()	()	()	()	80%以上	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	住民向けアンケート調査を実施し、その内容をもとに具体的な基準の検討に関する勉強会や意見交換会を行い景観計画の基礎調査を実施し完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・景観計画区域の範囲設定にあたっては、陸域だけではなくイノーを含む範囲が望ましいと考えている。 ・イノーは、本土の海には見られない珊瑚礁内の浅海であり、海浜レクリエーションの場として本村の景観を構成する大切な空間となっている。その一方で、浅瀬であることから人の手が入りやすいという特徴があり、景観区域範囲設定に含め景観の保全に努めたい。 ・景観計画区域内で景観特性・課題を踏まえた景観誘導を行おうとする場合、各種法規制現況及び土地利用等を考慮し4つの地区区分で行うことが望ましいと考えている。	・平成30年度以降は、平成29年度に行った基礎調査に加え、村民や専門的立場の意見が反映できる場（座間味村景観計画策定委員会）設けて計画案を策定する予定である。 ・白砂の海浜、切り立った海食崖や湾入りの多いリアス式海岸等、多様な海岸線を有する本村のイノーを含む海岸線は、慶良間諸島国立公園となっていることもふまえ本村では、景観計画区域に含めたい。 ・景観計画区域内地区区分は、集落景観保全地区、島の玄関景観形成地区、農地景観形成地区、自然景観保全地区の4地区区分で行うことが望ましいと考えている。今後、村民や専門的立場の意見を踏まえ確定を行う。
今後の取り組み方針		
景観計画は、座間味村の景観に関する施策を総合的かつ体系的に示すものであることから「座間味村第四次総合計画」に即し、村の主要関連施策と整合・連携を図るとともに、沖縄県の上位・関連計画や関連法を踏まえて策定を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
5,400	5,400	4,320	1,080	0

座間味村
5,400千円

→

委託料
5,400千円

→

株式会社 都市科学政策研究所
5,400千円

景観計画基礎調査業務

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業務の委託は、指名競争入札により契約しており妥当であったと考えている。 ・予算規模は、成果物報告書を受け適正な規模であったと考えている。 ・費目、使途については事業目的に即し、必要であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－⑦		座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア		
						観光リゾート産業の振興		
担当部課名	教育委員会		事業実施 （予定）年度	平成29～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や戦争記念碑等の周辺環境整備を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（34年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	24,955					
		(b) 予算現額	24,955					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	24,955					
	B. 執行済額		7,761					
	うち交付金充当額		6,209					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		31.1%					
予算の状況の説明		本事業は発注が遅れ工期の十分な確保ができず、また、委託発注後1ヶ所の現場にて橋梁による設計を見込んでいたがう回路による歩道設置の方が工事費の低減や維持管理費が容易になると判断しそのため当初橋梁設置に係るボーリング調査等の17,194千円が不用額となった。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）			達成状況				
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	転落防止柵、進入路、手すり、案内看板設置及び雨天時対策並びに周辺整備を行うための実施設計書の策定	目 標	(委託業務発注) () () ()					
		実 績	委託業務発注					
		目 標	() () () ()					
		実 績						
	達成状況説明	座間味島における戦跡・遺跡等の環境整備にむけ6ヶ所の測量業務・地質調査・設計業務委託を行うため指名競争入札を執行し業務の委託契約を締結し年度内発注した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （34年度）
	転落防止柵、進入路、手すり、案内看板設置及び雨天時対策並びに周辺整備を行うための実施設計書の策定完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	【34成果目標】 修学旅行学校数	目 標	()	()	()	()	17校	
		実 績						
	進捗状況説明	座間味島における戦跡・遺跡等の環境整備にむけ6ヶ所の測量業務・地質調査・設計業務を行い実施設計書の策定を行い本年度事業は完了した。なお、委託発注後つつじの塔の設計において河川をまたぐことから橋梁設置を見込んでいたが河川管理者（沖縄県）と協議したところう回路による道路設置も可能との事で橋梁設置を取り下げ河川を迂回する経路を採択することとなった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・座間味島における戦跡・遺跡等の環境整備にむけ6ヶ所の測量業務・地質調査・設計業務を行い実施設計書策定を行ったが一部工種変更が生じた。 ・平和の塔における進入路設計において個人有地が判明し地権者との用地交渉の準備を進めるが時間を要し平成30年度以降へ設計を見直すことが生じた。 ・整備後における、修学旅行などの平和教材としてどのように活用していくのが課題である。	・一部工種変更については占用許可の関係で変更を生じたが別ルート迂回路で対応したので改善の必要は無いものとする。 ・個人所有地については了解を得るまで時間を要する事から事業年度前には用地交渉を終えておく必要がある。 ・整備後、有効に活用できるように、関係機関と連携し修学旅行誘致などの取り組み方法を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・プロジェクト推進チーム員で事業執行を図っていたが平成30年度より文化財担当である教育委員会へ移譲し、事業の執行を図る。 ・施行箇所が多岐にわたり用地も広範囲になる事から既存施設であっても地権者の確認については事前に行い事業の遅れがないように留意していく。 ・整備後の活用について戦跡マップやホームページの活用によるPRを実行し就学旅行セール部門(村観光協会)との情報共有・連携を深め誘致に繋げると共に実際の利用者の声を聴いて要望等があれば将来反映できるようPDCAサイクルを構築するよう取組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>7,761</td><td>7,761</td><td>6,209</td><td>1,552</td><td>0</td></tr></table> 座間味村 7,761千円 委託料 7,761千円 株式会社日興建設コンサルタント 7,761千円 座間味島戦跡6ヶ所 測量業務・地質調査・設計業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,761	7,761	6,209	1,552	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,761	7,761	6,209	1,552	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札を行っており選定は妥当であったと考えている。 ○内示時期及び工法変更による不用額が生じており減額申請を行うなどの一部改善を行う必要があった ○費目・使途については清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

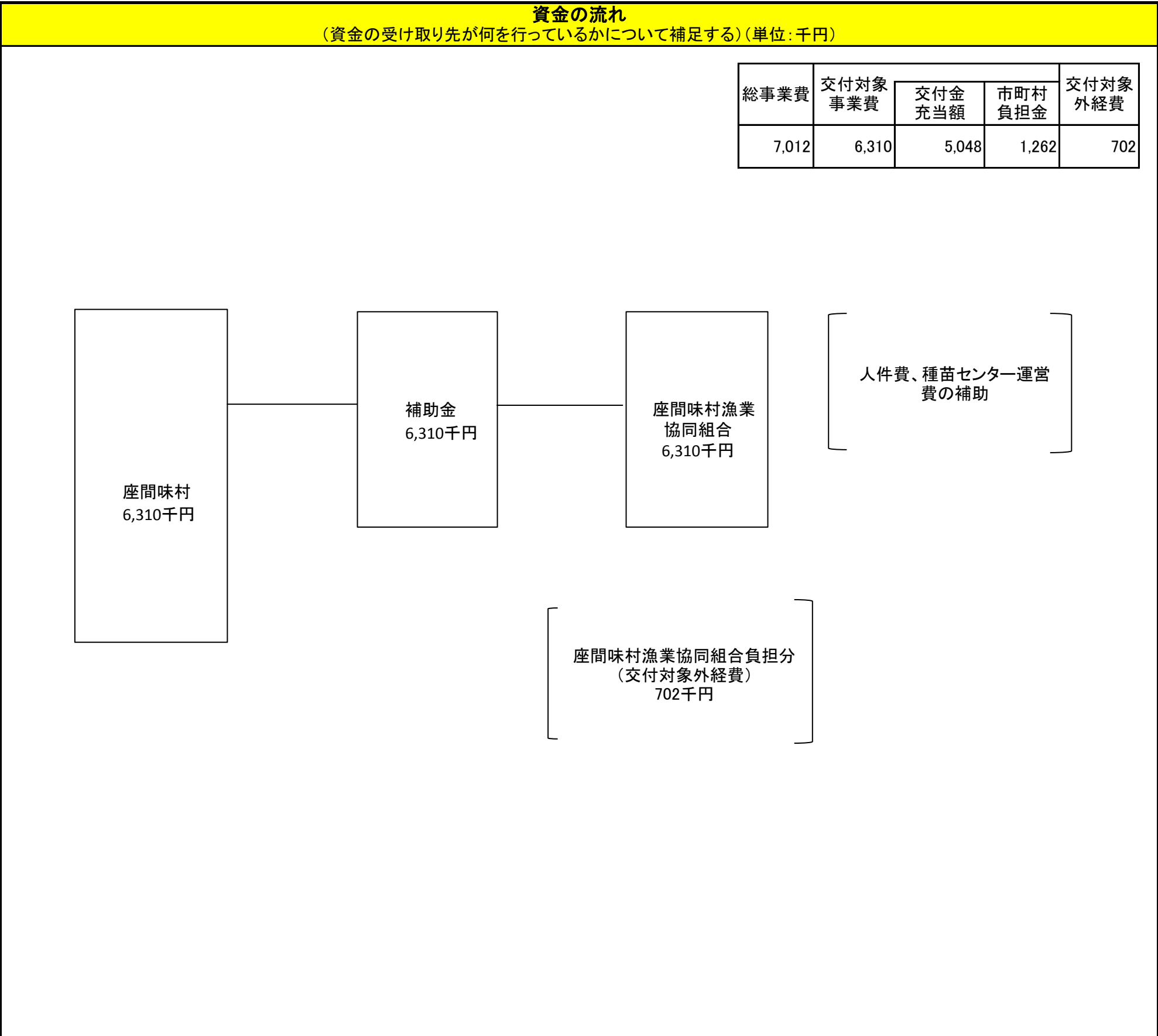
市町村名	座間味村							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	座間味村鮮魚美食事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	村内における漁獲物の売上向上を図るため、座間味島、阿嘉島の両鮮魚直売所における漁獲物を原料とした加工品の製造及び販売を行う団体を支援する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,166	14,961	4,642	5,764	3,934	
		(b) 予算現額	6,166	14,961	4,642	5,764	3,934	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	6,166	14,961	4,642	5,764	3,934	
	B. 執行済額		5,848	13,415	2,265	3,249	2,584	
	うち交付金充当額		4,678	10,732	1,812	2,599	2,067	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		94.8%	89.7%	48.8%	56.4%	65.7%	
予算の状況の説明		不用額1,350千円については賃金職員を1名雇えなかったことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	①地産地消の推進と直売所の強化賃金2名	目 標	(2名)	(2名)	()	()		
		実 績	1名	1名				
	②備品の購入 ホットロースター 1台 電熱煎餅焼機 1台	目 標	()	(1台 1台)	()	()		
		実 績		1台 1台				
	達成状況説明	賃金職員については、応募者を募集したが目標を達成する事ができなかった。 備品の購入についてはホットロースター、電熱煎餅焼機をそれぞれ1台ずつ購入し目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	鮮魚直売所の売上9,500,000円	目 標	()	(6,000,000)	(5,000,000)	(9,500,000)	()	
		実 績		8,200,000	9,900,000	10,000,000		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	鮮魚美食事業では、直売所の売上目標は達成でき、漁獲物の付加価値向上及び直売所の強化は達成できた。 当事業により新たな加工品の生産が可能となり、さらに直売所の運営により商品流通も推進できた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・加工品や商品をあたたかいまま提供することができない環境にあったが、整備した備品を活用しあたたかい食品を提供することができるようになったことなどが売り上げが伸びた要因だと考えられる。 ・外国人観光客の増加に伴い、ニーズにあった商品が少ないという課題がある。	・商品を継続して販売することによる定番化や、口コミ等によって評判を広げること等により、直売所の更なる売上増を図る必要がある。 ・外国人観光客のニーズに対応した商品の開発を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・商品の定番化や評判向上のために、WebやSNS等を活用した情報発信を検討する。 ・外国人観光客の増加を商品の売上向上に取り込みため、外国人観光客のニーズ把握に努めながら、求められる商品を生産し、売上増加につなげる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象 事業費</th><th colspan="2">交付金 充当額</th><th rowspan="2">交付対象 外経費</th></tr><tr><th>市町村 負担金</th><th></th></tr><tr><td>2,872</td><td>2,584</td><td>2,067</td><td>517</td><td>288</td></tr></table> 座間味村 2,584千円 補助金 2,584千円 座間味村漁業 協同組合 2,584千円 （直売所の強化） 販売加工・人件費 座間味村漁業協同組合負担分 （交付対象外経費） 288千円					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費	市町村 負担金		2,872	2,584	2,067	517	288
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費												
		市町村 負担金														
2,872	2,584	2,067	517	288												
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業目的を達成するにあたり、村内において当法人しかなく妥当である ・予算規模は事業内容を確認した結果、適正であった。 ・受益者である座間味村漁業協同組合は、1割を負担しており、事業内容や負担割合から判断して、妥当である。 ・事業の使途については、実績報告書・書類により確認しており、適正であった。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	座間味村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－②	座間味村サンゴ（海の花）育成・植付事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（12）－イ				
				農林水産業の振興				
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（6）			
事業内容	サンゴ礁海域へのサンゴの自然再生及び保全を図るため、サンゴの種苗の生産と育成、サンゴ植え付け後の生育活動を行う人材の育成及びサンゴ種苗センターの施設を運営する団体に支援を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,388	5,742	8,766	5,826	6,969	
		(b) 予算現額	6,388	5,742	8,766	5,826	6,969	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	6,388	5,742	8,766	5,826	6,969	
	B. 執行済額		5,771	5,202	5,364	5,168	6,310	
	うち交付金充当額		4,616	4,161	4,291	4,134	5,048	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		90.3%	90.6%	61.2%	88.7%	90.5%	
予算の状況の説明		不用額659千円は種苗センター運営費や人件費の実績減による補助金の残である。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	技術者育成 1名	目 標	(1名)	(1名)	()	()		
		実 績	1名	1名				
	種苗センター運営 12ヶ月	目 標	(12か月)	(12か月)	()	()		
		実 績	12か月	12か月				
達成状況説明	技術者育成について1名の職員を専属職員として育成する方針であり、座間味村漁業協同組合に対して適切な補助を行えた。 また、種苗センター運営費については、適切な運営費を補助することが出来た。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	27年度	28年度	29年度	目標値 （ 年度 ）
	種苗生産の拡大(2,500本)	目 標	()	(2,000本)	(2,500本)	(2,500本)	()	
		実 績		800本	1,000本	6,000本		
	サンゴが減少している海域への植付(3回)	目 標	()	()	(3回)	(3回)	()	
		実 績			3回	0回		
	【H30成果目標】 種苗の植付	目 標	()	()	()	()	1,000本以上	
		実 績						
	進捗状況説明	サンゴ種苗の生産数は6,000本で研究職員、施設管理職員の生産技術向上もあり、目標の2,700本を大きく上回った。 サンゴの植付については、昨年度までに生産したサンゴ種苗を植付に適した大きさまで成長させることが出来ず、今年度はリスク回避を優先し植付は断念したため目標達成にはいたらなかった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	サンゴの植付について、昨年度までに生産したサンゴ種苗があるが、植付に適した大きさまで成長させることが出来ず、今年度は植付を断念した。その要因として、夏場に台風が少なく種苗センター内の海水の温度が上昇したのが原因だと考えられる。サンゴの種苗生産、育成に関しては自然環境に左右されてしまうので、安定した生産が難しいという欠点がある。	水温を調節できる施設整備など改善する必要がある。引き続き自然海水を利用し、自然環境に近い状態でサンゴの種苗を安定的に生産出来るよう、取り組んでいく。
今後の取り組み方針		
サンゴが減少している海域に、育成した種苗を継続で植付し、種苗販売の体制が整い植付ダイビングが実施できるまで支援を継続する。種苗の植付については、平成24年度から平成29年度までに育成した種苗のうち、自然環境下で生育可能な株を選出し植付を行う。		



市町村名		座間味村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		3－①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第2章－3－(11)－ウ			
						離島における定住条件の整備			
担当部課名		産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－9			
事業内容		フェリーや高速船の欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、座間味村と沖縄本島間の渡航に係る利便性を確保する。							
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)							
実施方法		□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)				25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,985	8,700	8,700	8,700	12,600	
			(b) 予算現額	8,700	8,700	8,700	8,700	6,000	
			(c) 増減額 (b-a)	2,715	0	0	0	▲ 6,600	
			(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
			A. 計 (b+d)	8,700	8,700	8,700	8,700	6,000	
		B. 執行済額		6,060	5,460	4,140	3,600	4,200	
		うち交付金充当額		4,848	4,368	3,312	2,880	3,360	
		次年度繰越額		－	－	－	－	－	
		執行率 (％) (B/A)		69.7%	62.8%	47.6%	41.4%	70.0%	
予算の状況の説明		不用額の1,800千円は、荒天の影響及び他市町村へのフライトが多かったことから、本村のフライト数が減少したためである。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		H29活動目標(指標)		達成状況					
					26年度	27年度	28年度	29年度	
		村営船舶航路欠航時によるヘリコプター チャーター支援の実施	目 標	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)		
			実 績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施		
			目 標	()	()	()	()		
			実 績						
達成 状況 説明	慶良間空港～那覇空港間のフライト数140回分の運賃一部支援を実施した。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H29成果目標(指標)			基準値 (26年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (年度)
		フェリーや高速船の欠航時等に代替手段と なるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、 利便性が確保された(80%以上)を含め、ア ンケート調査により、当該事業のあり方を検 証する。	目 標	()	(80%)	()	()	()	
			実 績		89%				
			目 標	()	()	()	()	()	
			実 績						
		進捗 状況 説明	アンケート調査を実施し利便性が確保されたと回答した割合は89%であり目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・台風や荒天時の航路欠航時における補助であるため天候の影響等を考慮しながら事業を実施しなければならないが、他町村でも同様の事業を行っている事からヘリコプター会社の機材が足りず、必ずしも需要を満たす状況にはない。	・ヘリコプターチャーター会社や他町村との話し合いの場を設け、町村ごとの需要や機材の状況を踏まえた運行の在り方などを検討する必要がある。
	・ヘリコプターは外地島にある慶良間空港離発着であり、座間味島からの利用者にとっては、島間の船舶移動と慶良間空港～阿嘉島間の移動手段の検討が必要	・慶良間空港と阿嘉島間を行き来できるような村営バスの運行の検討やその他交通手段の確保について検討する必要がある。
	・アンケート調査の調査の実施が遅れ利用者の少数しかアンケートを回収することができなかった。	・アンケートを早期に実施し利用者に対して調査を行い、事業の検証を行える体制を整える必要がある。
今後の取り組み方針		
・ヘリコプター会社及びヘリタクシー補助事業を行っている他町村と調整し、渡航者の利便性確保に向けた効果的な運航方法を検討する。 ・慶良間空港～阿嘉島間の利便性の向上の為、村営バスの運行に向けた具体的な話し合いを進めていく。 ・アンケート調査の結果を踏まえた事業の在り方について検証を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象 事業費</th><th colspan="2">交付金</th><th rowspan="2">交付対象 外経費</th></tr><tr><th>充当額</th><th>市町村 負担金</th></tr><tr><td>4,200</td><td>4,200</td><td>3,360</td><td>840</td><td>0</td></tr></table> 座間味村 4,200千円 補助、負担金 4,200千円 エクセル航空株式会社 4,200千円 船舶欠航時ヘリコプターチャーター1フライト に対する運賃の一部支援					総事業費	交付対象 事業費	交付金		交付対象 外経費	充当額	市町村 負担金	4,200	4,200	3,360	840	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金		交付対象 外経費												
		充当額	市町村 負担金													
4,200	4,200	3,360	840	0												
資金 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・県内においてヘリコプターによる輸送業務を行う事業者は当事業者しかなく妥当である。 ・不用額が1,800円発生しているが悪天候の影響で運航を停止した経緯もあり、利用数の推移から予算規模は適正であると考える。 ・受益者負担は村の高速船の片道運賃となるよう設定されていることから妥当である。 ・事業の使途については実績報告、額の確定時における支出等の書類により確認しており、適正であった。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	座間味村						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア			
				交通・生活コストの低減			
担当部課名	産業振興課	事業実施 （予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9		
事業内容	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島、座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	535	1,870	2,542	3,076	3,843
		(b) 予算現額	1,456	3,085	3,100	3,635	3,843
		(c) 増減額 (b-a)	921	1,215	558	559	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	1,456	3,085	3,100	3,635	3,843
	B. 執行済額		1,456	3,083	3,090	3,598	4,326
	うち交付金充当額		1,164	2,466	2,472	2,878	3,460
	次年度繰越額		—	—	—	—	—
	執行率（％）(B/A)		100.0%	99.9%	99.7%	99.0%	112.6%
予算の状況の説明		当初385台程度の補助を予定していたが、利用率の向上により当初予想額を上まわり実績で流用対応した。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	自動車航送運賃を低減するための支援の実施	目 標	（ 支援の実施 ）	（ 支援の実施 ）	（ 支援の実施 ）	（ 支援の実施 ）	
		実 績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	沖縄本島への自動車航送運賃低減するための支援を実施することができた。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）		基準値 （26年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （30年度）
	支援台数 490台（H27年度実績395台）	目 標	（ 369 ）	（ 342 ）	（ 385 ）	（ 490 ）	
		実 績		395	501	606	
	【H30成果目標】 島民へのアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか（80％以上）を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	80％以上
		実 績					
	進捗状況説明	目標台数490台を上回る606台の自動車航送運賃の低減支援を行った。 4月29台、5月86台、6月53台、7月56台、8月54台、9月42台、10月38台、11月57台、12月63台、1月42台、2月47台、3月39台					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	目標台数以上の車両航送を支援することができ、沖縄本島での交通手段の確保、車検整備などの経済的負担の軽減などを図ることができた。 年々利用者数は増加しているが、それに伴いフェリーの車両予約が取りづらくなっているため、今後、大幅な利用者数増は難しい状況にある。	フェリーの積載可能台数は決まっている為、積載車両の平準化に向けた取組を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
フェリーでの車両航送を利用する際は、予約を早めに取りよう住民に呼びかけることで、予約が取れない場合でも別日に予定を変更しやすくし、積載を平準化することでさらなる利用者増に繋げる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
座間味村 4,326千円 補助、負担金 4,326千円 航路事業者 4,326千円 フェリー車両航走に係る運賃の一部支援 <table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>4,326</td><td>4,326</td><td>3,460</td><td>866</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,326	4,326	3,460	866	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,326	4,326	3,460	866	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。 ・予算規模は増額があったものの概ね妥当である。 ・受益者については、5割を負担し実施要綱どおりの負担割合であり、事業内容からも妥当だと考える。 ・座間味村事業者航送運賃低減化事業については実施要綱に定めた額を執行しているので妥当だと考えられる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	座間味村						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3－③	座間味村離島食品・日用品輸送費等支援事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－ア		
					交通・生活コストの低減		
担当部課名	産業振興課	事業実施 （予定）年度	平成28～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－9		
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から座間味村へ輸送される食品や衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,519	4,033			
		(b) 予算現額	3,519	4,033			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	－	－			
		A. 計 (b+d)	3,519	4,033			
	B. 執行済額		3,414	3,353			
	うち交付金充当額		3,731	2,682			
	次年度繰越額		－	－			
	執行率（％）(B/A)		97.0%	83.1%			
予算の状況の説明		不用額の680千円は輸送実績が当初予測より下回ったことによるものである。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	航路事業者（座間味村）へ対象品目に係る輸送費を支援	目 標	（ 支援の実施 ）	（ 支援の実施 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	支援の実施	支援の実施			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	離島輸送による生活コストを低減するための支援の実施ができた。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （30年度）
	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差（沖縄本島を100とした場合の指数）の縮小 （参考）H27指標：127.7 H28指標：124	目 標	（ ）	（ 価格差の縮小 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		価格差の縮小			
	【H30成果目標】 生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	マイナス 3.7ポイント以下
		実 績					
	進捗状況説明	沖縄本島を100とした場合の指数が123.45となり、沖縄本島と離島の価格差の縮小ができ、目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業の目的は離島における割高な生活コストの低減を図ることで、離島の定住環境の整備を行うというものであるが、1品目あたりの価格の低減率が低く、住民にとって生活コストの低減効果が実感されていないという結果となっている。	沖縄県が値引きシール等を作成したので商品単品でどのくらい値引きされているか分かるようになったため事業者を活用してもらい住民が値引きを実感できるようにしていく必要がある。
今後の取り組み方針		
住民等利用者が値引きを実感できるように値引きシール等を活用する。また、事業を広く知らせるため登録事業者側の情報発信を促すような取り組みを強化する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>3,353</td><td>3,353</td><td>2,682</td><td>671</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,353	3,353	2,682	671	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,353	3,353	2,682	671	0										
座間味村 3,353千円 補助・負担金 3,353千円 航路事業者 3,353千円 食品・日用品等の輸送費の補助														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先については、航路事業者が1事業者しかないため妥当である。 予算規模は680千円の不用額があったものの概ね妥当である。 受益者との負担関係については、本事業の目的からも妥当だと考える。 本島との価格差を縮小し、離島における定住条件の整備を目的としているため妥当だと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	座間味村								
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	3－④	座間味村救急対応車両整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－(3)－(ウ)				
担当部課名	総務・福祉課	事業実施 (予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	県民ニーズに即した保健医療 サービスの推進				
	Ⅲ－9								
事業内容	救急対応車両を導入することで、地域住民や観光客の安全性の確保を図る。								
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(30年度)								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,008						
		(b) 予算現額	6,008						
		(c) 増減額 (b-a)	0						
		(d) 繰越額	－						
		A. 計 (b+d)	6,008						
	B. 執行済額		6,007						
	うち交付金充当額		4,805						
	次年度繰越額		－						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%						
予算の状況の説明		当初の計画通りに執行できた。							
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況						
				29年度	30年度	31年度	32年度		
	救急対応車両の導入	目 標	(1台)	()	()	()	()		
		実 績	1台						
		目 標	()	()	()	()	()		
		実 績							
	達成 状況 説明	道幅の狭い座間味村の実情にあった救急対応車両を3月に導入することができ目標を達成することができた。							
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (30年度)
		救急対応車両の導入完了	目 標	()	(導入)	()	()	()	
			実 績		導入完了				
【H30年度】 搬送された本人や家族、付添い人に対し て、安全性が確保されていたか(80%以上) を含め、アンケート調査により、当該事業の あり方を検証する。		目 標	()	()	()	()	80%以上		
		実 績							
進 捗 状 況 説明		救急対応車両を3月に導入完了し4月から供用開始をしている。 地域住民や観光客の安全性の向上を図ることができた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	集落内の道が狭いため、既存の大型車両ではスムーズな運転が困難な者もあり、集落内でも通行できる大きさの救急対応車両の整備を行ったが、まだ運転技術には懸念がある。 国立公園となり入域観光客数も年々増加傾向である。それに伴い救急患者発生も増えることが予測されるため搬送車両の整備及び救急体制の確立が必要である。	搬送車両を導入したことにより集落内の狭い道路でもスムーズに搬送が可能になったが車両の運転技術の向上については改善の余地がある。 救急患者発生に伴う救急体制のあり方については関係機関含め調整の必要がある。
今後の取り組み方針		
地域住民や観光客の安全性の向上のための搬送訓練や、消防団員の運転技術向上のための訓練等も実施していく。 急患搬送時における救急体制のあり方について消防団員等にアンケートを実施し、検討をすすめていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>6,007</td><td>6,007</td><td>4,805</td><td>1,202</td><td>0</td></tr></table> 座間味村 6,007千円 備品購入費 6,007千円 琉球日産自動車株式会社 6,007千円 救急対応車両1台					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,007	6,007	4,805	1,202	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,007	6,007	4,805	1,202	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○座間味村特殊仕様に限定されているため地方自治法施行例第167条の2に基づく随意契約としており妥当だと考える。 ○不用額は5%以下であったため妥当であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	座間味村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－⑤	IP防災戸別受信機設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－(イ)			
担当部課名	総務・福祉課	事業実施(予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
事業内容	防災無線の放送が聞こえない難聴世帯等を対象に、戸別受信機を整備することで、災害時における情報伝達手段を確保し、村民及び観光客等の安全の確保を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(30年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,575					
		(b) 予算現額	13,575					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	13,575					
	B. 執行済額		11,772					
	うち交付金充当額		9,417					
	次年度繰越額		－					
	執行率（％）(B/A)		86.7%					
予算の状況の説明		不用額1,803千円は当初設置予定台数を下回ったことによる残である。						
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	戸別受信機の設置 50台	目 標	(50台)	()	()	()	()	
		実 績	37台					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	当初50台を予定していたが、聞こえの調査や設置が必要か再度検討の結果37台の設置となり、当初予定以下の整備となった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値（ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値（30年度）
	戸別受信機の設置完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	【H30年度】 防災訓練を実施し、村全域において、放送・配信が確実に伝達されたか(100%)を、村民及び観光客等に対するアンケートにより確認し、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	()	()	100%	
		実 績						
	進捗状況説明	防災無線の難聴世帯の防災力向上の為に戸別受信機の設置を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	防災無線の難聴世帯があり緊急時等の防災放送が聞こえないなど防災体制の改善が必要であった。	戸別受信機を設置したことによる防災体制の改善が図られたかどうかを検証する必要がある。 また、戸別受信機の有効的な活用方法について検証を進めていく必要がある。
今後の取り組み方針		
今後も、難聴世帯があるか引き続き調査を行い防災体制の向上に努めていく。 また、整備した戸別受信機を活用し避難訓練等を実施後、整備世帯にアンケートや聞き取り調査を行うことで防災体制の向上の検証をする。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>11,772</td><td>11,772</td><td>9,417</td><td>2,355</td><td>0</td></tr></table> 座間味村 11,772千円 委託料 11,772千円 NTTビジネスソリューションズ株式会社 11,772千円 IP防災戸別受信機設置 委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,772	11,772	9,417	2,355	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,772	11,772	9,417	2,355	0										

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○当該事業者が整備、運用しているシステムを使用するため保守運用上、随意契約による事業者選定は妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は10%以上出ているが、適正に審査を行い設置しているので妥当であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は精算段階で検査を実施しており必要なものであったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4－①	座間味村外来植物討伐事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－(1)－ア		
						生物多様性の保持		
担当部課名	産業振興課		事業実施 （予定）年度	平成24～32年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－10－1		
事業内容	観光地として魅力的な景観形成を図るため、村内に自生する外来植物（モクマオウ、ギンネム等）の伐採、駆除を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☐ 後年度（ 年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	21,214	28,620	22,897	9,854	9,854	
		(b) 予算現額	36,183	28,620	22,897	9,854	9,854	
		(c) 増減額 (b-a)	14,969	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	
		A. 計 (b+d)	36,183	28,620	22,897	9,854	9,854	
	B. 執行済額		35,962	28,134	22,680	9,666	9,612	
	うち交付金充当額		28,769	22,507	18,144	7,732	7,689	
	次年度繰越額		－	－	－	－	－	
	執行率（％）(B/A)		99.4%	98.3%	99.1%	98.1%	97.5%	
予算の状況の説明		不用額242千円については入札残である。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）			達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	委託業務実施（座間味地区 阿嘉慶留間地区 予定）	目 標	（ 委託業務の実施 ）	（ 委託業務の実施 ）	（ 実施 ）	（ ）		
		実 績	委託業務の実施	委託業務の実施	実施			
	6月～2月、1月平均18人体制	目 標	（ 24人 ）	（ 18人 ）	（ 18人 ）	（ ）		
		実 績	24人	18人	20人			
	達成状況説明	委託事業を実施し外来植物の討伐事業を完了した。 2地区において延べ1211人で作業を行い、月平均作業で20人体制であった。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （ 年度）
	外来植物の討伐（村内一円） それぞれの地区における討伐本数年間500本以上	目 標	（ ）	（ 500本 ）	（ 500本 ）	（ 500本 ）	（ ）	
		実 績		897本	500本	834本		
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	それぞれの地区において討伐事業を実施し、年間834本の討伐を行い目標達成した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光地としての景観保持のため、伐採・駆除の対象をモクマオウ及びギンネムに絞って実施しているが、これらの樹木は繁殖力が高く、駆除範囲の拡大が困難となっている。	・伐採・駆除対象の樹木は繁殖力が高いことから、今後の効果的・効率的な事業目的の達成に向けては、事業の進め方の見直しが必要となっている。
今後の取り組み方針		
・これまでに討伐作業を実施した箇所における対象植物の繁殖状況を確認・検証し、今後の事業の進め方を検討する。本事業の目的を踏まえ、観光地としての景観形成に向けてより効果の高い場所（観光施設周辺、居住区、道路）における討伐を優先しながら、山間部等への展開についても検討を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>9,612</td><td>9,612</td><td>7,689</td><td>1,923</td><td>0</td></tr></table> 座間味村 9,612千円 委託料 9,612千円 (有)座間味建設 5,400千円 (有)中村建設 4,212千円 討伐事業委託業務 討伐事業委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,612	9,612	7,689	1,923	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,612	9,612	7,689	1,923	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により業者選定を行っているため妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は作業の実施規模を想定して行っており不用額も5%以下となっており妥当である。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については精算段階で検査を実施しており目的に即し、必要なものであった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	座間味村						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5－①	教育環境充実事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（11）－イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成28～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
事業内容	児童生徒を対象とする家庭学習支援のため、学校施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「村営学習塾」を開設する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,814	16,761			
		(b) 予算現額	7,814	16,761			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	7,814	16,761			
	B. 執行済額		5,969	6,547			
	うち交付金充当額		4,775	5,237			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		76.4%	39.1%			
予算の状況の説明		不用額10,214千円は授業数及び渡嘉敷との協定による、授業料応分割りに伴う金額の減額及び授業直前キャンセルによる執行残となる。					
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	オンライン授業の実施 賃金職員 4～6名 講師派遣 2名	目 標	（賃金職員4名 講師派遣2名）	（賃金職員4～6名 講師派遣2名）	（ ）	（ ）	
		実 績	賃金職員6名 講師派遣2名	賃金職員6名 講師派遣2名			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	座間味島1拠点にて、平成29年5月15日～平成30年3月22日まで、阿嘉・慶留間島1拠点にて平成29年11月27日～平成30年3月20日まで、計224授業を実施した（直前キャンセル除く）。 支援員（賃金職員）は座間味拠点に4名、阿嘉・慶留間拠点に2名配置し、シフト制で対応し目標を達成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）		基準値（年度）	29年度	30年度	31年度	目標値（30年度）
	学習塾利用児童・生徒数35名 （対象全児童・生徒数 50名）	目 標	（ ）	（ 35名 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		20名			
	【H30成果目標】 学習塾で実施される期末テスト（全国規模）において、全国と本村との平均点の差をマイナス10点以内に改善する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	-10点以内
		実 績					
	進捗状況説明	座間味拠点に関しては当初予定していた日程で授業を開始することができたが、阿嘉・慶留間拠点に関しては、当初利用者がおらず、11月からの授業開始となった。 目標値に関して、村内の対象児童・生徒数50名に対し、35名の目標としたが、20名の利用者数となり、目標達成には至らなかった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・座間味島拠点、阿嘉・慶留間島拠点においても、時間割を組んだものの受講児童・生徒のいない学年があり、塾が稼働していない日が多々あった。また、普段は遠隔で授業を行っている講師を招聘し、直接授業・交流を行った際は、阿嘉・慶留間拠点の受講者がおらず、交流する場を持つことが出来なかった。 ・昨年度と比較して今年度は、連絡が無いまま、当日授業に来ない受講者が多く、直前キャンセルとなった授業が多く見受けられた。	・受講する児童生徒を増やせるよう、塾の内容等の広報・周知及び児童生徒の都合に合わせた時間割の編成が必要である。また、講師招聘の際はあらかじめ受講児童生徒の日程も確認のうえ、交流機会を確保する必要がある。 ・直前キャンセルによるを減らすためにも、事前の保護者説明会時での周知徹底、支援員と受講する児童・生徒の保護者との連絡を密に行うようにする。
今後の取り組み方針		
・離島においても学外でも学びたい児童生徒に学習環境を整備するために、本事業は引き続き実施するが、受講生の増加を図るため、学校等で本事業の周知を行うとともに、児童生徒の都合に合わせた時間割編成のための希望調査を行う。 ・直前キャンセルを減らすため、連絡なく不参加の児童・生徒の保護者へ電話連絡を行う等の対策をとる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>6,547</td><td>6,547</td><td>5,237</td><td>1,310</td><td>0</td></tr></table> 座間味村 6,547千円 → 委託料 6,547千円 → 株式会社フィオレ・コネクション 6,547千円 授業委託の実施					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,547	6,547	5,237	1,310	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,547	6,547	5,237	1,310	0										
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・授業実施委託はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模は直前キャンセル等で不用額が多くなってしまい適正とはいえなかった。 ・費目、使途については、授業実施目的に即し、必要であると判断した。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												